

事務連絡：関連情報

(1) 宇宙基本計画および工程表閣議決定（令和5年6月13日）

-QZSSはいよいよ11機体制を視野に

宇宙基本計画：衛星測位に関わる主なポイント

https://www8.cao.go.jp/space/plan/plan2/kaitei_fy05/honbun_fy05.pdf

【衛星測位機能の強化】（P 20-(a) 宇宙安全保障のための宇宙システム利用の抜本的拡大）

- ① 同盟国との協力により高い抗たん性を有する衛星測位機能を担保しつつ、自律測位の観点から準天頂衛星システムの機能性や信頼性を高め、衛星測位機能を強化する。そのため、準天頂衛星システムについて、7機体制から11機体制に向け、コスト縮減等を図りつつ、検討・開発に着手する。また、欧米における政策・研究開発動向を見据えつつ、将来システム検討及び研究開発を進める。
- ② 防衛省及び海上保安庁は、準天頂衛星システムを含む複数の測位信号の受信機の導入を推進する。また、防衛省は、宇宙空間での測位信号の活用について検討を進める。

【Beyond5G 時代を見据えた次世代通信技術開発・実証支援】

- ① 2030年代に実現を目指している次世代の通信技術である Beyond 5G を見据え世界の開発競争が激化している中、陸・海・空さらには宇宙をシームレスにつなぐために、我が国が非地上系ネットワーク（NTN）を世界に先駆けて開発・実装していく。それにより、現在ネットワークが整備されていない遠隔地に加え、ドローンや空飛ぶ車等の飛行体への通信サービスの提供など多様な通信サービスの実現や、地政学リスクや災害リスクに備えた強靱なネットワークの実現を目指していく。

【フルデジタル化通信衛星の実装に向けた開発・実証支援】

- ① 国際的に急速に進展する通信衛星の大容量化、デジタル化を実現し、変動する通信需要に迅速かつ柔軟に対応可能なハイスループット衛星通信技術を確立するため、技術試験衛星 9 号機（ETS-9）を 2025 年度に打ち上げるべく、必要な開発を継続するとともに、打上げ後の海外展開を含めた実装を着実に進め、当該分野における国際競争力強化を図っていく。

事務連絡：関連情報

宇宙基本計画：衛星測位に関わる主なポイント（続き）

【7機体制の着実な構築と11機体制に向けた検討・開発着手】（P27-(c)準天頂衛星システム）

- ① 持続測位を可能とする7機体制構築に向け、H3 ロケットの開発状況を踏まえて、2023年度から2024年度にかけて順次準天頂衛星を打上げ、引き続き着実に開発・整備を進める
- ② 準天頂衛星システムがアジア太平洋地域での社会インフラとして貢献できるよう、海外向け高精度測位サービス（MADOCA-PPP）や「災害・危機管理通報サービス」について、必要な機器の整備や人材育成等の政府間の連携を強化していく。
- ③ 7機体制確立以降の将来的な準天頂衛星システムについて、普及期から本格的な利用への移行に向けて、バックアップ機能の導入による社会インフラとしての安定性・信頼性の向上や、先進的な製品・サービスの提供に向け、周囲にビル等の障害物があるような場所でも利用しやすい高精度測位サービスの実現といった、国内のユーザーからの要望に応えていく必要がある。測位サービスの安定供給を目的としたバックアップ機能の強化や利用可能領域の拡大のため、7機体制から11機体制に向け、コスト縮減等を図りつつ、検討・開発に着手する。
- ④ 将来の準天頂衛星システムの技術開発及び開発整備にあたっては、初号機システム及び5～7号機搭載パイロード開発の成果や知見、次期測位技術の先行開発を行ってきたJAXAとの連携協力を更に強化拡大し、総合的なシステムとして効率的かつ着実に実施することが適切である。また、海外の技術動向や国内外のニーズを踏まえつつ、信頼性・機能性向上や抗たん性の強化等の測位技術の高度化や、主要技術の国産化を戦略的かつ継続的に進めるため、関係省庁・機関、産学官の協力を強化し推進する。

将来の準天頂衛星システムにはユーザからのフィードバックが重要
* 欧州ではESAとEUSPAの両輪があってGALILEOが進化

事務連絡：関連情報

宇宙基本計画工程表：衛星測位に関わる主なポイント（続き）

https://www8.cao.go.jp/space/plan/plan2/kaitei_fy05/kouteihyou_fy05.pdf

【宇宙安全保障のための宇宙システム利用の抜本的拡大⑤-衛星測位機能の強化】

- ① 同盟国との協力により高い抗たん性を有する衛星測位機能を担保しつつ、自律測位の観点から準天頂衛星システムの機能性や信頼性を高め、衛星測位機能を強化する。
- ② 準天頂衛星システムについて、7機体制から11機体制に向け、コスト縮減等を図りつつ、検討・開発に着手する。
- ③ 欧米における政策・研究開発動向を見据えつつ、将来システム検討及び研究開発を進める。
- ④ 防衛省及び海上保安庁は、準天頂衛星を含む複数の測位信号の受信機の導入を推進する。
- ⑤ **宇宙空間での測位信号の活用**について検討を進める

事務連絡：関連情報

(2) 第13回QBIC総会（6月20日）

-QBICは今年度にて満了を決定

2023年度QBIC活動の方針（案）



【活動方針】

2022年度に運営したタスクフォースからの報告を基に企画運営委員会で審議した結果、QBIC第2期活動は2023年度で満了と判断する。この活動満了の判断を前提として、2023年度のQBIC活動方針は以下とする。

1. QBIC活動は、概ねその使命を果たしたものとし、2023年上期末をもって終了、閉会とする。しかし、今後も必要となる活動については、QBICとは異なる枠組みにおいても、社会的貢献が可能な継続ができるよう、具体的な実施方法を検討する。
2. 各WGでは、QBIC活動第1期、2期の総括に関する活動を満了時まで継続する。
3. 上記活動結果は、2023年9月末に開催するQBIC修了式にて報告する。

QBIC総会

第13回QBIC総会（6月20日）総会資料より

2

事務連絡：関連情報

(2) 第13回QBIC総会（6月20日） -海外展開WG活動計画

2023年度活動計画スケジュール

項目	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
イベント			第13回QBIC総会 ▽ 6/20			QBIC修了式 ▽ 9/X						
企画運営委員会			#31企画運営委員会 ▽6/6			#32企画運営委員会 ▽9/X						
海外展開WG			▽5/09			▽6/22						

知恵袋会適宜開催

海外展開WG

関連機関等調整

満了後に継続が必要な活動は、J-spacesystemsを母体とした新たな形態で引き継ぐ。

第13回QBIC総会（6月20日）総会資料より

事務連絡：関連情報

(3) Galileo HAS Days

<https://www.euspa.europa.eu/newsroom/news/join-us-first-galileo-has-days>

今年初めにスタートしたガリレオ高精度サービス (HAS) のユーザ集会



宇宙空間での利用 (Beyond Gravity)、
スマホでの利用 (Google) など興味深いトピックあり。

TIME	AGENDA ITEM	PARTICIPATION
09:30-10:15	Welcome coffee	Onsite
10:15-10:45	Opening session – Welcome (EC, EUSPA, Spanish Ministry of Transports, Mobility and Urban Agenda)	Onsite and online
10:45-11:15	Galileo HAS: status, architecture and roadmap (EC, EUSPA)	Onsite and online
11:15-11:45	Galileo HAS service performance overview (EUSPA)	Onsite and online
11:45-12:15	Coffee Break	Onsite
12:15-13:00	Galileo HAS market adoption, funding opportunities and applications (EUSPA)	Onsite and online
13:00-14:30	Lunch Break	Onsite
14:30-14:45	Introduction of the HAS pioneer users' session (EUSPA)	Onsite and online
14:45-15:10	HAS for space applications (Beyond Gravity)	Onsite and online
15:10-15:30	HAS for surveying and mapping applications (EOS Positioning Systems)	Onsite and online
15:30-16:00	Coffee Break	Onsite
16:00-16:25	HAS for autonomous vehicles (Anavs)	Onsite and online
16:25-16:50	HAS for agriculture and machine control applications (Hemisphere GNSS)	Onsite and online
16:50-17:15	Evaluation of Galileo High Accuracy Service (HAS) with real-world Android smartphone navigation dataset (Google / Speaker to be confirmed)	Onsite and online
17:15-17:30	Conclusions (EUSPA)	Onsite and online